

第7回環境楽習会開催のお知らせ

野外巡検：恋ヶ窪分水を歩く

- 日時：6月26日（日）10：00 出発～12：30 解散
- 集合時間・場所：9：45、西武国分寺線／鷹の台駅
解散場所：JR 中央線／国分寺駅
- プログラム：(定員：15名)
- 案内解説者：福田恵一さん（羽村第一中学校）
小金井とかかわりの深い玉川上水と恋ヶ窪分水、野川源流部の姿見の池を巡検し、水環境と暮らしの歴史を学ぶ。
- 資料代：200円
- 協催：小金井市環境市民会議／環境学習部会、NPO こがねい環境ネットワーク、NPO 自然文化誌研究会／植物と人々の博物館、NPO 環境文明 21
- 申込み連絡先：kibi20kijin@yahoo.co.jp 木俣美樹男（企画室事務担当）
参加申込みをしてくださった方には当日の交通案内など要綱をメールでお伝えします。

*このゼミの動画、話題資料などは、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、互いに体験と知識など学び合う環境学習市民連合大学の下記サイトで一般公開します。

<http://www.milletimplic.net/university/civicues.html>

地球環境問題など暗い現実ばかりを挙げて恐怖心を煽り、皮相な対策を教え込む環境教育では、課題解決はできません。複雑な生活環境を本質的に、あるいは根底的に、分析的に認知するだけでなく、さらには統合的に洞察して、環境楽習により解決に向かうようにしたいです。ここには、科学的な事実分析、総合的な関係認識、統合的な熟考理解による構想力が求められます。さらに、大事な点はファンタジー、想像力を逞しくして、一層、心の構造と機能を鍛える生涯学習過程を社会的にも勧めることだと思います。環境を心で学ぶとは何か、素のままの美しい暮らし (sobibo) を探して、幸せになるように楽しく、深く語り合い、学び合うことです。物の豊かさばかりではなく、心の豊かさを求めて、そのままの美しい暮らし、自給知足するように向かうことです。定常社会に移行しようということです。

環境学習市民連合大学は環境学習の理論と実践を普及啓発する目的で、ウェブサイトを作っています。主旨は、市民社会の自由、平等、友愛を基本原則として、自らが学び合う環境学習市民連合大学をリンク・ページとして、インター・ネット上で運営することです。ヨーロッパのルネサンスの先駆けとなった原初の大学は学び合いたい人々の学習者組合でした。教師も学生も互いに学びの自由を守護し合い、共助していました。入学資格、試験、授業料、卒業資格はありません。どなたでも、学び合いたい人々が自由に集まるのです。今この時に、人生における学ぶ意味について改めて考え直したいです。この市民大学は任意無償提供の学習素材、任意寄付で維持します。この提案にご賛同の方々の参加（リンクなど）を広く求めます。よろしくご連絡をお願いします。最近の録画、話題資料メモは上記サイトにあります。